

製品名: コラーゲン IV ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21611**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:160kD;Observed MW:200kD

抗原情報

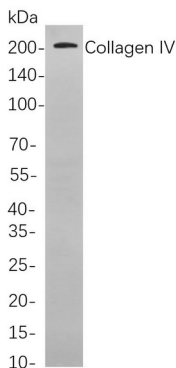
遺伝子名	COL4A1 Arresten;BSVD;CO4A1_HUMAN;COL4A1;COL4A1 NC1 domain;COL4A2;COL4A3;COL4A4;COL4A5;collagen alpha-1;IV;chain;Collagen IV Alpha 1 Polypeptide;Collagen IV Alpha 2 Polypeptide;Collagen Of Basement Membrane Alpha 1 Chain;Collagen Of Basement Membrane Alpha 2 Chain;Collagen Type IV Alpha 1;collagen type IV alpha 1 chain;Collagen Type IV Alpha 2;Collagen Type IV Alpha 3;Collagen Type IV Alpha 4;Collagen Type IV Alpha 5;RatOR
別名	
遺伝子 ID	1282.0
SwissProt ID	P02462

背景

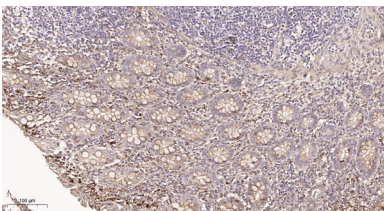
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は IV 型コラーゲン α タンパク質をコードする。IV 型コラーゲンタンパク質は基底膜の必須成分である。この遺伝子は、反対鎖のパラログ遺伝子と双方向プロモーターを共有する。このタンパク質は、アミノ末端 7S ドメイン、三重らせん構造を形成するコラーゲンドメイン、およびカルボキシ末端の非コラーゲンドメインから構成される。ヘテロ三量体として機能し、パルカン、プロテオグリカン、ラミニンなどの他の細胞外マトリックス成分と相互作用する。さらに、非コラーゲンカルボキシ末端ドメインのタンパク質分解により、アレステンと呼ばれる生物活性断片が生成され、抗血管新生作用および腫瘍抑制作用を有する。この遺伝子の変異は、孔脳症、脳血管疾患、腎機能障害、筋障害を引き起こす。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2014 年 12 月]

研究分野

画像データ



コラーゲン IV ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト虫垂組織の免疫組織化学分析。1. コラーゲン IV ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。